

2024年5月12日(日)晴れ、昨日は真岡駅前のホテルに宿泊した。  
朝早く真岡鉄道に乗り、久下田駅で下車し、「⑩アシそよぐ水辺のみち」を歩いた。今日の歩行主題のコースとなっている鬼怒川沿いと、田川沿い(鬼怒川の支流)の土手道(サイクリングロード)を歩く事となっている。そして弓削の道教のお墓と、奈良時代建立の薬師寺跡を訪ねる。



今日歩くコース案内板。駅前の敷地内にある



コース案内図(久下田駅、宗光寺、龍興寺、下野薬師寺跡) 21km、5時間30分コース



真岡鉄道 真岡駅 8:14 発の上りに乗車



二駅先の久下田駅で下車、今日の⑩コースのスタート地点である



駅前広場に二宮尊徳翁の銅像が立っているのに驚いた。

碑文によると、小田原藩の旗本の知行地である下野の国桜川(現在の桜川市)一帯を、藩主から村おこしを命じられ、家族共々移住して30年余、疲弊した田畑を見事再建させたと言う



「芳全寺の銅づくり大仏」 寛保 2 年(1742)造立 県文化財。戦時中良く供出を免れた



芳全寺境内の道標。  
背景のドラえもんがいいね、今日歩くコースの道標の背景を並べてみた



麦畑に建つ道標。栃木県は大麦の産地で、全国の 22%を産出する



田植えを終えた水田の傍らに立つ道標



玉葱(たまねぎ)畑に建つ道標



今日のお題。アシそよぐ水辺のみのちの道標



芳全寺を後に、宗光寺に向かう。町中をジグザグに通る



町を出ると、広大な畑が広がり、ここでは玉葱の収穫中



こちらも玉葱畑



葱の収穫中であつた



今度は田植の終わった広大な田圃道を通過する



「長沼八幡宮」 この社は古い、銅造りの鳥居が歴史を感じる



延暦元年(781)創建と伝える。坂上田村麻呂が蝦夷征伐の途上、当地に菅田別命を祀ったのが始まり



源頼義、義家の寄進も多い。山門には武将の木造が安置、吽形阿形像ではない



八幡宮を通り抜けると、鬼怒川に出て、サイクリングロードを上流に向けて歩く



今日のテーマ、「アシそよぐ水辺のみち」を歩くが、高い土手に阻まれて川が見えない



「鬼怒川」 鬼怒沼が源流で、177km流れて利根川に注ぐ 1級河川、暴れ川として有名



今度は、鬼怒川の支流の「田川」 このサイクリングロードを北に向かう



距離的には1km弱であるが、秋になるとアシがそよぐだろう



今は田植えの時期だから、川は堰き止められて、水嵩が増している



サイクリングロードを離れて、薬師寺集落に向かう



この集落も雨除けに守られて、石仏類が手厚く祀られている



薬師寺小学校には、久下田駅前の尊徳像と同じように、おなじみの二宮金次郎像が置かれている。台座を読むと大正 11 年設置、昭和 15 年再建と読める。この辺りの集落は、今でも尊徳翁を崇めている



「龍興寺」真言宗。 このお寺には奈良時代有名となった「弓削道鏡」のお墓がある



道鏡は奈良時代の高僧で、天平勝宝(749)宮中の看病禪師となる。考謙上皇(女帝)の病を直した事から出世し、大臣禪師の位まで上り詰める。考謙上皇が称徳上皇となると、太政大臣禪師となり権力を手に入れる。



「道鏡のお墓」 称徳上皇が崩御すると官位を剥奪され、下野の薬師寺別当に左遷される。宝亀3年(772)失意の中、この地で没する



「下野国薬師寺跡」(国指定史跡) 白鳳時代の天武13年(684)東国での仏教文化の中心地として栄えた



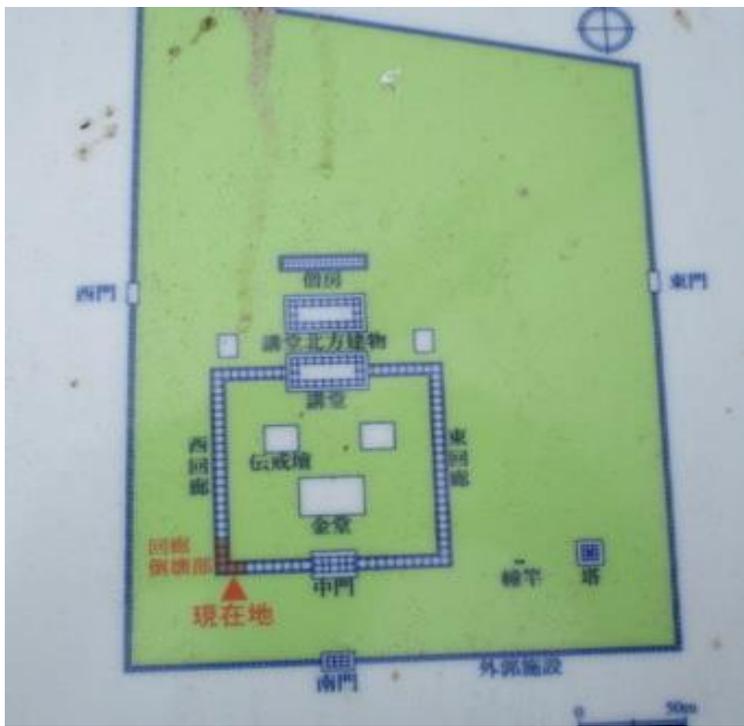
「周辺概念図」 東山道、下野国分寺、尼寺。古墳群が多い。



「薬師寺の礎石」 回廊の礎石だと説明にある



西側の回廊跡



堂塔伽藍配置図



回廊の一部分の再現



「祇園原」史跡群を後に帰路につく、JR 宇都宮線を潜ると、祇園原に出る。  
国道 4 号線(奥州街道)に沿って約 4kmの赤松林(樹齢 100 年)が続く



江戸時代、秋田佐竹藩の佐竹氏が管理した”御林”が起源で、  
寛政(1789-1800)の時代殖産奨励策として植林したのが始まり



今日のゴール宇都宮線「自治医大駅」。私の万歩計では 29km、4 万歩であった

[参考タイム] 真岡駅(8:14)→久下田駅(8:25)→宗光寺(10:05-10:15)→長沼八幡宮(10:45-10:50)→  
田川(12:40)→龍興寺(13:50-14:00)→薬師寺跡(14:20-14:30)→祇園原(15:00)→  
自治医大前駅(15:30)

この項完

「関東ふれあいの道(栃木)①名刹と旧跡を訪ねるみち」に続く